

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	応急手当の普及・啓発事業		
事業開始年度	平成 24 年～	提案型	☐ 市民提案型協働事業 ☒ 行政提案型協働事業
団体名	ひらつか応急手当協力会	担当課名	消防救急課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・毎年増加する講習会と受講者数に市民の意識の高まりを感じます。これはこの事業が市民の益に十分値するものであると高く評価します。
 - ・担当課との協働も回を増すごとに良い連携が生まれていると思います。このパートナーシップを更に深めるとともに団体の自立化を願っています。
 - ・協力会会員の講習会への参加状況を見ると、会員の使命感、責任感の高さに敬意を表します。
 - ・協働事業の場が、協力会がマンパワーを提供する場とともに、協力会会員のスキルアップの場ともなっています。
 - ・26年度の開催数、受講者数共に前年度を上回った活動をされた事に頭が下がります。団体、行政それぞれの役割が効果的に活かされた結果だと考えます。協働事業としては、今回で終了となりますが、大変重要な事業ですので、今後の活動に期待します。
 - ・平成26年度は普通救命、応急手当講習会合わせて173回、5692名もの受講者があり素晴らしい事業の進め方だと思います。
 - ・講習会の開催が市民をはじめたくさんの団体から申し込みがあるとのことで行政だけではとても人手が足りない中をひらつか応急手当協力会の皆さんの協力で効率的な普及・啓発が図られています。
 - ・多くの市民に対して応急手当の必要性を指導することが出来て素晴らしいことだと思います。
 - ・この事業を通して市民の生命、安全を守るために大きな成果をあげていることを確認できました。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・講習会の回数が多いにも多く、協力会の皆さんが疲弊していないか心配です。
 - ・平日動ける会員の増加や指導技術の格差是正などの課題が挙げられていますが、持続可能な事業にしていくためには、担当課の歩みよりが必要ではないかと思います。
 - ・当該団体は、講習会の「お手伝い」から「主体」となっているとも言える。勉強会等によるスキルアップはもちろんだが、うまく団体のブランド化というか、社会的に大いに認知される存在となる工夫をすることにより、消防の補助機関から独立した団体として会員の拡大も図れると思います。
 - ・自主事業が増えるにしたがって、やはり財源の確保は必要になってくると思います。賛助会員や寄付者を募って頂きたい。メンバーの負担を軽減するためにも会員の更なる増加に期待したいです。
 - ・ひらつか応急手当協力会の会員数が9名から20名になったとのことだがコアで動いている方は変わっていないのでさらに平日に動ける会員を増やしていく必要があると思います。
 - ・会員を増員して平日開催の講習会の依頼への対応をさらに強化して多くの市民に対して応急手当の必要性を広めてもらいたいです。
 - ・特に平日の人手不足が課題となっているようですが、これだけの成果のある事業なので、もっと広く市民に事業や団体のPRをしてはどうでしょうか。多くの市民に知ってもらうことで 団体に入会したいという人も出てくるのではないのでしょうか。平日が足りないのであれば平日に参加できる人を募集しているとはっきりPRするといいいのでは。

C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	外国籍市民支援放送事業		
事業開始年度	平成 25 年～	提案型	☐ 市民提案型協働事業 ☒ 行政提案型協働事業
団体名	多文化共生ひらつか情報局	担当課名	文化・交流課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・団体の組織力が増すとともに資金調達への努力も見え、事業が円滑に進んでいる様子が見受けられます。今後を期待しています。
 - ・組織の強化、団体のPR活動、賛助会員などによる財源の確保等、一つ一つ課題に取り組み、着実に成長されていると思います。
 - ・アンケート調査等により活動の成果、効果等を図ろうとする姿勢は続けて欲しいです。
 - ・賛助会員の募集で、自主財源の確保及び協力者、理解者を増やされた事を高く評価します。
また、新たに防災ラジオ番組に取り組みまれるなど外国籍市民が安心して暮らせるまちづくりに寄与されていると感じます。団体と行政との協議を深めて放送内容の質を高めるために更に協働を進めてください。
 - ・行政だけではなくなかなか難しい外国人の方の支援を多言語放送という形で市民協働で行っていることは非常に評価できます。
 - ・FM 湘南ナパサでの防災インフォメーションという番組も任されるようになったことを評価します。
行政と一緒に事業PRに取り組み団体信用度を向上し、行政が定期的に情報提供、団体は必要な情報を選別提供できていると思います。
 - ・7言語での生活情報等のラジオ放送ということで、外国籍市民が安心して平塚で暮らすために大きな意義のある事業だと思います。団体の専門性が活かされている点がいい。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・緊急時のマニュアルづくりが課題となっている。双方で充分協議していただき、役割分担を明確にして進められると良いと思います。平塚市の外国人数は 4108 人、全人口に対する構成比は 1.59%、県内では 12 番目（2015/04/18 毎日新聞より）。他市町村の先駆事例なども調べ参考にすると良いのでは、と思います。
 - ・ベルマーレ J1 復帰、東京五輪の開催予定、ひらスポナビの運用開始、など今後はこのような点も視野に入れて連携できると良いのではないかと思います。
 - ・災害発生時の情報発信体制の検討を進めていただいています、あまり背伸びせず行政の危機管理部門とも十分調整され、行政の対応とは異なる市民活動団体らしい取り組みを進められたい。
 - ・災害緊急時の対応について具体的な方針と対応策の作成をお願いします。
 - ・外国人の方々の満足度を把握するためアンケートを実施しているが参加者が少ないようなのでアンケートをインタビューという形で行った方がより多くの方の声が聴けるのではないかと思います。
 - ・緊急時の対応の強化、人員の強化、自主財源の強化に引き続き取り組んで頂きたいです。
 - ・この放送の主なリスナーは外国籍市民となる。外国籍市民に知ってもらうための広報周知の方法について団体のノウハウを活かして広げていって欲しい。例えば、フェイスブックなどのネット媒体を活用するとか、外国籍市民の集まる飲食店などに小さいチラシを置いてもらうなどが効果的なのではないでしょうか。

C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	食品の放射性物質簡易検査		
事業開始年度	平成 25 年～	提案型	☐ 市民提案型協働事業 ☒ 行政提案型協働事業
団体名	NPO 法人 ひらつかエネルギーカフェ	担当課名	市民情報・相談課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・市民目線で検査を行うという点が市民にとってより親近感が増している。
また団体の専門知識が功を奏していて、行政と団体の役割が明確である点が評価できます。
検査回数を高める工夫が随所にみられ、素晴らしい活動に進化していると思いました。
- ・行政の持っていない専門性をいかして、市民の持つ不安などに対応していると思います。
- ・検査件数が昨年の件数より大きく上回った事を評価します。協働事業としての役割分担、互いのスタンスが明確になり、より発展した事業になっています。今後も協働のメリットを活かしながら事業を進めて頂きたいと思います。
- ・前年からの懸案であった検査件数は講座の開催やイベント時のPRなどで伸びている。
- ・市民に放射能に対する安心感を与えられていると思います。イベントを通じて安心を伝えることも出来たと思います。さらに事業の必要性を市民に知らせる工夫をしていってください。
- ・大磯町との広域連携が進んだことを評価したい。大磯町とも連携してより多くの検査が行われて、市民の食に対する不安解消に寄与していただきたいです。

(2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・福島では、農業が少しずつ再生しており野菜の出荷も始まっている。放射性セシウムの半減期は 30 年であることからまだまだ市民の間には不安が広がっている。検査することのみに捉われず、新たな事業も展開されており期待が持てます。
- ・評価シートの課題の中でも触れられているように、市民の放射能への関心を風化させないよう広報活動の充実、検査件数の拡大よりも優先するのではないのでしょうか。
- ・是非、継続していただきたい事業ですので、今後も広報等を活用し、周知を拡げて検査件数を増やしていただきたいと思います。
- ・行政内での連携（市民情報・相談課と農水産課）により事業の広がりが見えてきました。
さらに大磯町との連携もあり広域的な事業の展開も期待したいです。
- ・子どもから大人まで未来に繋がる広報活動の充実を期待しています。検査件数の拡充にも繋げていってください。子供向けの夏休みのイベントを増やしたらどうでしょうか。
お米、野菜以外での検査品目を増やすことで食の安心をさらに訴えて欲しいです。
- ・現在の検査機器は検体が 1kg 必要とのことだが、それで市民が検査を申し込むのに足かせとなっているのであれば、より簡易的な検査機器などで対応できないか検討してはどうでしょうか。
- ・講習会と検査をセットにすると周知ができるのでは。検査体験料を参加者に負担してもらい、体験料で検査検体を購入し、実際に検査を体験してもらうのもいいと思います。使用した検体の野菜などはカフェで調理して提供してもいいかもしれません。

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	感覚統合療法普及事業		
事業開始年度	平成 26 年～	提案型	☐ 市民提案型協働事業 ☒ 行政提案型協働事業
団体名	ひろげよう子育て支援の会	担当課名	こども家庭課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・場の提供、遊具の貸し出しといった行政の役割と団体の利用者目線に添った対応と遊具の活用といった役割が明確で、市民からの評価も高いと聞いています。
また、双方で工夫を凝らして事業を展開している点が評価できます。
 - ・民間の1事業所では確保が難しい感覚統合療法に必要なスペースを行政が提供し、専門的な知見を持った団体が事業を実施する際に、準備段階から実施後まで常に協議を行い双方で事業の改善点や発展性について意見交換が十分されています。
 - ・感覚の問題を抱えた子どもたちにとって本当に必要な事業です。体験利用、勉強会に参加した事業所が感覚統合療法をプログラムに取り入れているなど事業の効果が着実に現れてきていると感じます。
団体、行政それぞれのメリットを活かした有効的な協働事業だと思います。
 - ・団体と行政がよく連携されていて場所の提供や研修会などを通じて両者が同じ目的を持ち事業を推進しています。
 - ・市が所有する資源、会場や遊具を活用することでより多くの方に楽しく体験をできる機会を提供できたと思います。
 - ・支援者である児童発達支援事業所の職員、当事者である子ども・保護者、さらに当事者ではない一般の子ども保護者まで対象に実施することでより広く普及できていると思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・協働事業終了後、団体はどのような活動を想定しているかお聞きしたい。団体としての組織力UPを願うとともに、ITを使った情報発信を積極的に行ってはどうかと考えます。
(若い子育て層はスマホやラインを通じて情報交換をしているため)
 - ・評価シートの今後の具体的な展開の項目では、「今後も双方で実施」とされているが、一応期限があるのが当該事業であるので、期限到来後の取組みについて特に行政側は早期に方向性び庁内調整を図ってください。
 - ・感覚統合療法を更に普及啓発させるために、市民や各事業所に事業を周知し、知っていただきたいと思います。
 - ・いろいろ周知していると思うがさらに各障がい者団体などPRが必要だと思います。
 - ・勉強会や研修会を充実させて普及啓発していただきたいです。
 - ・「感覚統合療法」という言葉はあまり知られていない言葉だと思う。発達障がいなどの特性なども含めて、例えばパンフレットの作成やホームページでの掲載など多くの方に知ってもらえるような普及啓発の方法も是非検討してください。
 - ・周囲から理解されにくく生きづらさを感じる子ども達への理解を深めるためには、一般の方にどれだけ知ってもらえるかが重要です。すばらしい事業なので、くれよんだけで実施するのではなく、例えば子育て支援センターなどに一部の遊具を持って出張し、一般の子育て家庭の理解を深めることも検討してはどうでしょうか。

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	平塚市立小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業		
事業開始年度	平成 26 年～	提案型	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
団体名	東海大学地域 スポーツクラブ	担当課名	スポーツ課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・東海大学体育学部の学生が関わることで、利用者の期待感や満足が増し、今後も利用者が増加すると思われます。ぜひ他地域への拡大を望みます。
学生のための運営に不安があるといった課題に対し、担当課が毎回立ち会ったとあるが、市側のこの事業に対する取り組みの姿勢を高く評価します。
 - ・学生という若い力が、行政とかかわることにより地域の中に入って行き、地域貢献が図られていると思います。
 - ・東海大学の学生さんが地域貢献できる素晴らしい事業です。学生の視点で運営されている事が市民の参加を増やしていると思います。団体、行政双方の利点が活かされた協働事業です。
 - ・市民の運動場所の提供もあるが大学生の地域貢献の意識が高まる事業になっていると思います。
 - ・協働で行うことで効果的に広報ができたくさんの人を集めることができたと思います。スポーツを通じてコミュニティの場になったことを評価します。大学の地域貢献の場にもなりました。
 - ・市民が地域の身近な場所で気軽にスポーツ機会を得ることができ、学生も大学で学んだことを実践する場となっていて、Win-Win の関係ができよい協働となっています。
 - ・当初の目標を大きく上回る方に参加してもらえたことからニーズの高い事業だと思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・事業を継続する上で課題となっている学生の確保について、27年度は少し増えたと報告がありましたが、持続可能な事業にするために、新たな仕組みづくりも視野に入れ検討してください。
高齢社会・介護保険改正に鑑み、この事業が未病への取り組みへと進化していくと更に公益的な事業へと発展していくと思います。
 - ・参加者や地域住民も含めて、運営委員会のようなものを作って地域で運動施設の個人利用開放ができないでしょうか。
 - ・主体者が学生なので、継続性に不安がありますので、後継者の養成に留意して事業を続けてください。
 - ・行政としては参加者をさらに増やすため会場となる学校との調整を進めることとさらなるPRが必要であると思います。
 - ・人員の確保、安全面の配慮の徹底をお願いします。さらに競技の幅を拡げ、参加者の年齢層も広がることを期待したいです。「楽しむ」をキーワードに内容も充実するといいいと思います。
 - ・他の地域、学校にも広げていけるといい。ニュースポーツを知ってもらう機会としても大変有効だと思います。
 - ・人数が増えると安全管理面ではリスクも増えるので、利用者間のルールなどの徹底をお願いします。
 - ・人員の確保については大学生の団体ということで永遠の課題となると思う。メンバーが変わっても定期的に入会者があるように仕組み作りをして欲しい。大学の協力も必要だと思うので、是非担当教授の方には調整をお願いします。

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業		
事業開始年度	平成 26 年～	提案型	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
団体名	認定 NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット	担当課名	スポーツ課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・サイトの構築は専門性が必要とされるが、経験豊富な団体との協働で安心感がある。
利用者参加型のサイト運営を目指していると思うが、現状とのギャップをどう改善していくか、今後期待しています。
- ・行政側の仕様に基づくポータルサイトの構築委託ではなく、経験、実績豊富な市民活動団体との協働により、短期間で市民目線等も踏まえたポータルサイトの構築がされたと評価します。
- ・システム開発に最大限の努力をされたと推察します。今後のサイト運営への貴会のフォローアップに期待します。
- ・地域での活動がよりわかりやすく検索することができて身近なものに感じます。
- ・現代の変化に合わせて新技術を取り込んだサイト開発ができ、市民の目線でのサイトが構築されていると評価します。
- ・4月1日に無事に第1期開発分のサイトが開設されて良かった。今後どう市民に利用してもらうかでサイトの価値が変わってくる。利用者のニーズを捉えることも重要だと思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・ポータルサイトは見やすさ・検索しやすさが要求されるため、アクセス増につながるよう、更なる検討をお願いします。
また、若手の利用団体にサイトの盛り上げを協力してもらうなど、関わり手を増やすことでアクセス数の増加を図ると良いのではないかと思います。
- ・平塚のスポーツ情報がワンストップで提供されるサイトが構築され、更に改良されると思うが、「浅く、広く」ということにはならないように、これがこのサイトの「売り」といったような特徴的な情報もあってもいいのではないのでしょうか。
- ・市民参加型ポータルサイトなので、情報更新の技術が無い掲載団体のサポート体制を整えてください。
- ・スポーツ団体に対してさらにパソコン操作等の研修が必要だと思います。
- ・市民の健康増進のため行政内で行っている高齢者の健康事業なども情報提供していただきたい。
- ・広告収入など自主財源を確保し、運用基盤の強化、参加団体のモチベーションの持ち方についても考えて欲しいと思います。サイトのファンづくりが大切だと思います。
- ・スポーツ課で実施するイベント等でも積極的にこのサイトのPRをして多くの市民に知ってもらうことがまずは重要です。民間のスポーツ施設などにもチラシや垂れ幕なども掲示してもらうとさらにいいのではないのでしょうか。
- ・情報の鮮度を保つためにも、更新作業についての掲載団体へのフォローアップは継続して力を入れていただきたい。